

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(令和2年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立育精福祉センター成人寮	所管課	福祉保健部 障害福祉課
所在地	南アルプス市有野3303-2	設置年月日 (改築年月日等)	昭和47年4月1日
管理方式	社会福祉法人山梨県手をつなぐ親の会		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立障害者支援施設設置及び管理条例		
設置目的	知的障害者に必要な指導及び訓練を行い、自立した日常生活や社会参加を図るため。		
主な施設内容 (定員等)	<ul style="list-style-type: none"> ○敷地面積:79,970㎡(児童寮を含む) ○建築延面積:3236.11㎡ ○建物の構造:鉄筋コンクリート造平屋建、鉄骨造 ○施設の内容 <ul style="list-style-type: none"> ・成人一寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,312.60㎡ ・成人二寮棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 1,429.65㎡ ・療育棟(鉄筋コンクリート造平屋建) 342.60㎡ ・管理棟及び車庫の一部 151.26㎡ ○各障害福祉サービス定員 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護:105人 ・短期入所:9人 ・施設入所支援:90人 		
主な業務内容	<ul style="list-style-type: none"> (1)施設等の維持保全に関する業務 <ul style="list-style-type: none"> ・施設及び設備器具の維持保全に関する業務を行う。 (2)利用者に対する障害福祉サービス業務 <ul style="list-style-type: none"> ・生活介護、短期入所及び施設入所支援に係る業務を行う。 		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	<ul style="list-style-type: none"> ・あゆみの家:自立訓練(通所 22人、夜間 20人)、短期入所(2人) ・梨の実寮:生活介護(52人)、就労移行支援(6人)、就労継続支援B型(12人)、施設入所支援(50人)、短期入所(6人) ・あさひワークホーム:生活介護(38人)、就労移行支援(8人)、就労継続支援B型(34人)、施設入所支援(40人)、短期入所(5人) ・あけぼの医療福祉センター成人寮:生活介護(45人)、自立訓練(機能訓練)(15人)、施設入所支援(40人)、短期入所(15人)
------------------------------	--

3 利用状況

単位:人、%

		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度 (目標値)
利用者数	生活介護	104	108	104	104
	短期入所	16	26	12	12
	施設入所支援	88	91	89	90
	利用者数合計	208	225	205	206
	目標値	204	204	204	204
	目標値設定の考え方及びその理由	定員を目標値とする。			
	対平成30年度比		108.2%	98.6%	99.0%
利用率	102.0%	110.3%	100.5%	100.9%	

4 指定管理業務の収支状況

単位:円、%

		令和元年度 (実績値)	令和2年度 (計画値)	令和2年度 (実績値)	令和3年度 (計画値)
収入	施設利用料	446,050,786	449,212,800	450,373,225	450,730,000
	指定管理者委託料				
	その他	459,269	413,200	9,350,866	16,954,759
	収入合計(A)	446,510,055	449,626,000	459,724,091	467,684,759
支出	人件費	324,105,131	318,676,000	296,868,460	320,510,000
	県への納付金				
	管理運営費	129,306,663	130,950,000	129,939,960	147,174,759
	うち外部委託費(B)	13,425,516	15,300,000	12,465,335	12,500,000
	支出合計(C)	453,411,794	449,626,000	426,808,420	467,684,759
収支差額(A-C)	△ 6,901,739		32,915,671		
外部委託比率(B÷C)	3.0%	3.4%	2.9%	2.7%	
利用者一人当たりの経費	1,984,489.1	2,202,023.5	2,242,556.5	2,188,009.7	

5 利用者満足度(アンケート様式は別添のとおり)

実施方法等	実施期間: 令和3年1月15日～1月30日 調査方法: 利用者へのアンケート 回答数: 102人
-------	--

単位: %

調査項目	満足	どちらかといえば満足	どちらかといえば不満	不満
相談・要望対応	52.0%	40.0%	6.0%	2.0%
プライバシー	69.0%	26.0%	4.0%	1.0%
食事	68.0%	27.0%	5.0%	
入浴・身だしなみ	58.0%	35.0%	4.0%	3.0%
健康管理	77.0%	21.0%	2.0%	
買い物・外出	39.0%	36.0%	16.0%	9.0%
居住	54.0%	34.0%	9.0%	3.0%
施設全般	54.0%	39.0%	5.0%	2.0%
施設全般の満足度	54.0%	39.0%	5.0%	2.0%

利用者の意見	<p>①面会や外泊を増やしてほしい。</p> <p>②外出や旅行に行きたい。野球が見たい。</p> <p>③殺伐とした世の中なので、毎月のお知らせに気分がほっとしたりクスッと笑えるような情報等を掲載してはどうか。(通所養護者からのご意見)</p> <p>④ふろの湯が熱かったりぬるかったりするので調整してほしい。</p> <p>⑤他の利用者と仲良くしたい。</p>
利用者の意見への対応	<p>①コロナ禍で外泊などが制限され、ご本人、ご家族共に不自由をおかけしました。コロナ感染症の状況を見ながら、安全に配慮しつつ実施できるよう検討します。また、感染下における面会はガラス越しですが引き続き実施していきます。</p> <p>②コロナ禍で計画していた旅行や外出が出来ませんでした。コロナが収まり次第新たな計画を立てて実施していきます。</p> <p>③ありがたいご意見なので取り入れていきたいと思っております。</p> <p>④県と協議したり、センター内で出来ることは調整していきます。</p> <p>⑤いろいろな楽しめる行事や日常生活を通して、良い人間関係がつかれるよう支援していきます。</p>

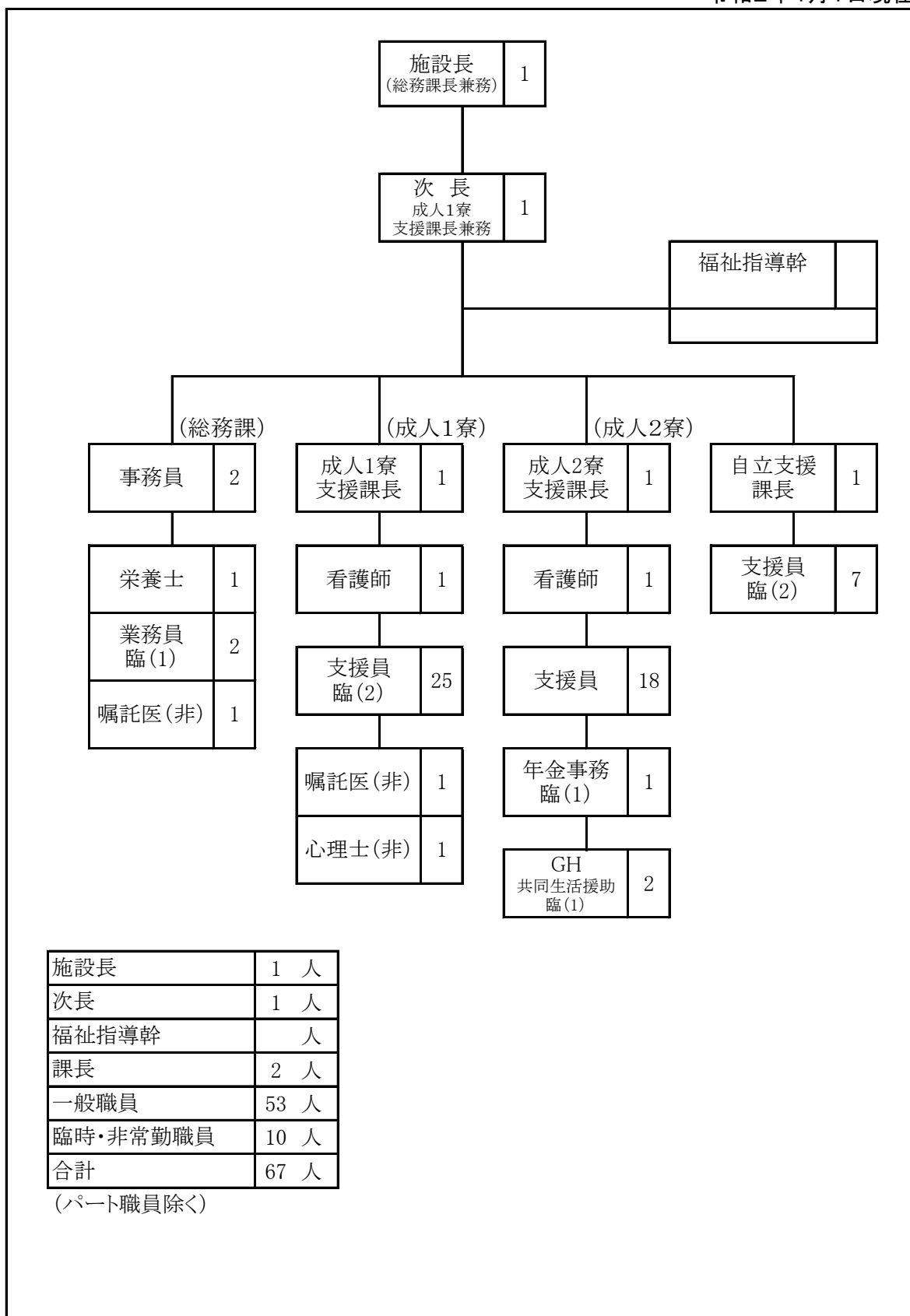
6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	利用者の安全・安心で、充実した生活が確保できるよう、段差の解消や施設の補修などに速やかに対処するなど、業務仕様書等に基づき、きめ細かに業務を遂行した。	業務計画書、業務仕様書のとおり適正に維持管理が行われている。 今後施設・設備の老朽化により不具合が生じやすくなると考えられるため、保守点検等に配意し、不具合があれば速やかに対応すること。
運営業務	当施設には、重い知的障害のある方、高齢の方、行動障害等のある方などが利用している。これらの利用者に対して、安全・安心な生活の場を提供するとともに、個々のニーズに合わせて、音楽療法、乗馬療法、作業活動、余暇プログラムなどの日中活動を充実し、生活の質の向上に努めるなど、事業計画書に基づき、適切な業務執行に努めた。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、行事や活動等の実施に制限がある中、屋内での活動に工夫を行い、概ね適正に事業が行われている。 利用者の満足度を高められるよう、更なるサービス向上に努めていくこと。
利用状況	施設入所・生活介護ともほぼ定員一杯の状況が続いており、さらに利用希望の申し込みが多数あった。短期入所においては、新型コロナウイルス対策のため利用を制限せざるを得ず例年の三分の一程度の実績であった。	概ね事業計画書に沿った利用がなされている。新型コロナウイルス感染症対策を適切に行いつつ、利用者の要望にできる限り応えるよう努めること。
収支状況	新型コロナウイルスの影響により、短期入所・日中一時支援事業の受入れを一時的に中止としたため、当収入を確保できなかった。 引き続き、収入の確保や、適切かつ効率的な支出に努め、施設運営が安定化するよう取り組んで行く。	減収は新型コロナウイルスの影響によるものが大きく、やむを得ないものであるが、収支は黒字となっている。 引き続き収入増に向け努めるとともに、支出のさらなる効率化に取り組むこと。
自主事業	新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から、市町村から受託する日中一時事業において、利用が制限され例年よりも減少している。GH(共同生活援助)については、計画どおり適切な運営に努めている。	事業計画書に基づき、概ね適正に執行している。
利用者満足度	90%以上の利用者が「満足・ほぼ満足」と回答されており、高い評価を受けている。今後も、利用者のご意見に応え、さらに満足度を高められるよう、安全・安心な環境づくりに配慮しつつ取り組んでいく。	利用者の満足度は概ね高くなっている。 今後は満足度調査で挙げられた意見を踏まえ、積極的に取り組むこと。

<p>運営目標の達成状況</p>	<p>当センターを利用する重い障害のある方々が、安心・安全で自律的な生活が営めるよう支援を行い、生活の質を高めるとともに、利用者の満足度が向上するよう取り組んだ。また、乗馬療法や音楽療法など、リハビリや行動障害を軽減する活動などを取り入れ、精神的な安定を図った。</p> <p>利用者数は、生活介護104名、施設入所支援89名、短期入所契約者12名と高い利用実績があり、事業計画に沿った運営を行っている。</p> <p>施設の維持・保全については、年間5件以上の補修を行い、利用者の安全な生活が確保できるよう積極的に取り組んだ。</p>
<p>施設所管課による総合的な評価及び指導事項</p>	<p>個々の利用者の状況に合わせて作成した個別支援計画に基づき、質の高いサービスを提供しつつ効率的に運営しており、利用率、利用者の満足度ともに高い。</p> <p>利用者数は増加傾向にあったが、令和2年度は減少した。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で短期入所者数が減少したことによる。</p> <p>重度の知的障害者を受け入れる施設であることから、引き続き感染対策を徹底するとともに、設備の不具合への対応等、施設・設備の管理を適切に行うこと。</p>
<p>施設所管課の指導事項に対する指定管理者の対応状況</p>	<p>引き続き利用者が満足を得られるよう、質の高いサービスの提供に努めていく。</p> <p>今後も、条例、協定等に基づき施設管理運営業務を適正に履行していく。</p> <p>新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底する。</p> <p>利用者や保護者の意向や生活状況を踏まえて、自立した生活が営めるよう必要な支援を行っていく。</p> <p>利用者の重度化・高齢化に対応した職員の資質の向上に努めていく。</p>

7 管理体制(組織図)

令和2年4月1日現在



施設長	1 人
次長	1 人
福祉指導幹	人
課長	2 人
一般職員	53 人
臨時・非常勤職員	10 人
合計	67 人

(パート職員除く)